

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月29日

計画の名称	1 名古屋港の物流機能の維持・強化、快適な港湾空間の形成(防災・安全)		
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)	交付対象	名古屋港管理組合・名古屋市
計画の目標			

- ・既存ストックの改修・改良により、物流機能の維持・強化を図る。
- ・橋梁を耐震補強することにより、災害時の交通・物流機能を確保する。
- ・放置艇対策により、安全な港湾活動を確保する。
- ・人々が憩い、快適・安全に過ごすことの出来る港湾空間の形成を図る。

計画の成果目標(定量的指標)

- 指標① H22から5年間で予防保全が必要な港湾施設の改良率を、0% (H22) から100% (H26)とする。
- 指標② 港内の第1次緊急輸送道路上の橋梁について、耐震化率を0% (H24) から25% (H26)とする。
- 指標③ 港内の放置艇の恒久施設への収容率を14% (H22) から27% (H26)とする。
- 指標④ 維持管理計画を策定する必要がある施設の割合を、0% (H22) から100% (H24) とする。
- 指標⑤ 中川運河地区における堀止緑地の認知度を0% (H22) から70% (H26) とする。
- 指標⑥ 金城ふ頭地区における金城ふ頭中央緑地の認知度を50% (H22) から70% (H26) とする。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値	中間目標値	最終目標値
(H22当初)	(H24末)	(H26末)

備考

【港湾施設】H22から5年間で改良を必要とする施設数に対する改良施設数の割合を算出 (改良率) = (改良が完了した施設数) / (H22から5年間で予防保全を必要とする施設数) (%)	0%	60%	100%
【橋梁耐震化】港内の耐震化を必要とする橋梁のうち、耐震化が完了した橋梁の割合を算出 (橋梁耐震化率) = (耐震化が完了した橋梁数) / (耐震化が必要な橋梁数) (%)	—	0%	25%
【放置艇対策】港内放置艇のうち、恒久施設への収容割合を算出 (放置艇収容率) = (恒久施設係留隻数) / (H18年当初放置艇隻数) (%)	14%	—	27%
【長寿命化】維持管理計画を策定する必要がある港湾施設のうち、策定が完了した施設の割合 (維持管理計画整備率) = (維持管理計画書整備施設数) / (維持管理計画書整備施設必要数) (%)	0%	100%	100%
【緑地】中川運河地区における堀止緑地の認知度を把握 (堀止緑地の認知度) = (アンケート内の堀止緑地認知数) / (イベント時のアンケート集計数) (%)	0%	—	70%
【緑地】金城ふ頭地区における金城ふ頭中央緑地の認知度を把握 (金城ふ頭中央緑地の認知度) = (アンケート内の金城ふ頭中央緑地認知数) / (イベント時のアンケート集計数) (%)	50%	60%	70%

全体事業費	合計 (A+B+C)	4,669.5百万円	A	4,657.9百万円	B	C	11.6百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.2%
-------	---------------	------------	---	------------	---	---	---------	---------------------------	------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	平成27年度
公正な評価に向け、幅広い見地から意見を得るため、平成28年3月11日に学識経験者で構成する「名古屋港管理組合社会資本総合整備計画評価会議」を開催し、事後評価を取りまとめた。	公表の方法	名古屋港のホームページにおいて、事後評価を公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	金城ふ頭岸壁改良(鋼管杭補強、電気防食等)	施工延長L=113m	名古屋港 金城ふ頭					144.0	継続	
1-A-2	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	岸壁改良(車止め取替え)	施工延長L=100m	名古屋港 飛島ふ頭					6.9	継続・統合補助①	
1-A-3	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	岸壁改良(全面電気防食)	水深D=-7.5m、延長L=300m	名古屋港 弥富ふ頭					27.9	継続・統合補助①	
1-A-4	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	臨港道路の改良(舗装打替)	舗装打替面積 6,500㎡	名古屋港 弥富ふ頭					73.0	継続・統合補助①	
1-A-5	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	岸壁改良(全面電気防食、車止め取替え等)	水深D=-5.5~-10.5m、延長L=1250m	名古屋港 金城ふ頭					53.4	継続・統合補助②	
1-A-6	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	物揚場改良(全面電気防食)	水深D=-3.5m、延長L=1155m	名古屋港 金城ふ頭					46.1	継続・統合補助②	

A 基幹事業														全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	港湾 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間 (年度)						
											H22	H23	H24			H25	H26
1-A-7	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	船だまり改良 (全面電気防食)	水深D=-4.5m、延長L=555m	名古屋港 金城ふ頭						34.5	継続・統合補助②
1-A-8	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	運河改良 (張出補強)	施行延長 L=130m	名古屋港 中川運河						72.6	継続・統合補助③
1-A-9	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	岸壁改良 (全面電気防食)	水深D=-4.5~-10m、延長L=500m	名古屋港 ガーデンふ頭						30.9	継続・統合補助④
1-A-10	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	岸壁改良 (全面電気防食)	水深D=-9m、延長L=213m	名古屋港 大江ふ頭						17.4	継続・統合補助④
1-A-11	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	岸壁改良 (全面電気防食)	水深D=-5.5m、延長L=991m	名古屋港 船見ふ頭						49.1	継続・統合補助④
1-A-12	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	船だまり棧橋の改良 (鋼管杭補強、全面防食)	水深D=-3.5m、延長L=55m	名古屋港 堀川						28.3	継続・統合補助④
1-A-14	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	岸壁改良 (全面電気防食)	水深D=-9m、延長L=190m	名古屋港 稲永ふ頭						14.6	継続・統合補助⑤
1-A-15	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	物揚場改良 (全面電気防食、鋼矢板補修)	水深D=-3.5m、延長L=120m	名古屋港 一州町						58.8	継続・統合補助⑤
1-A-16	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	岸壁改良 (全面電気防食、鋼矢板補修)	水深D=-4.5~-10m、延長L=299m	名古屋港 潮風ふ頭						116.5	継続・統合補助⑤
1-A-17	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	岸壁改良 (全面電気防食、防舷材取替)	水深D=-4.5~-10m、延長L=1500m	名古屋港 空見ふ頭						163.5	継続・統合補助⑤
1-A-18	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	臨港道路 (橋梁) 改良 (舗装打替)	舗装打替面積 2,453㎡	名古屋港 潮風ふ頭						18.0	継続・統合補助⑤
1-A-19	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	放置小型艇収容緊急整備	係留施設、収容隻数200隻	名古屋港 南5区						223.5	継続・統合補助⑥
1-A-20	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	放置小型艇収容緊急整備	駐車場	名古屋港 南5区						15.0	継続・統合補助⑥
1-A-21	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	耐震強化岸壁改良 (全面防食)	水深D=-7.5~-10m、延長L=315m	名古屋港 潮風ふ頭						325.5	継続・統合補助⑦
1-A-22	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	維持管理	港湾施設の長寿命化計画の策定	係留施設38件、橋梁5件	名古屋港						73.9	継続
1-A-23	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	みなと振興	緑地整備	面積 S=1.1ha	名古屋港 金城ふ頭地区						151.0	継続
1-A-24	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	建設	緑地整備	面積 S=1.1ha	名古屋港 中川運河地区						1,169.7	継続
1-A-25	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	飛島ふ頭道路改良 (舗装、交差点改良)	延長L=2.7km	名古屋港 飛島ふ頭						900.0	新規
1-A-26	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	臨港道路 (橋梁) 改良 (橋梁補修)	延長L=204m	名古屋港 弥富ふ頭						220.5	新規・統合補助①
1-A-27	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	岸壁改良 (全面電気防食、鋼矢板補修)	水深D=-4.5m、延長L=240m	名古屋港 北浜ふ頭						15.3	新規・統合補助④
1-A-28	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	運河改良 (張出補強)	施行延長 L=200m	名古屋港中川運河 (東海線~昭和橋)						135.0	新規・統合補助⑧
1-A-29	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	運河改良 (張出補強)	施行延長 L=130m	名古屋港中川運河 (長良橋~運河橋)						123.0	新規・統合補助⑨
1-A-30	港湾	内地	名古屋港管理組合	直接	—	拠点	改良	金城ふ頭橋梁改良 (耐震補強、床版打替)	橋長L=392m	名古屋港 金城ふ頭						350.0	新規
合計														4,657.9			
C 効果促進事業														全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)							
										H22	H23	H24	H25			H26	
1-C-1	施設整備	内地	名古屋市	直接	—	みなと振興	情報提供施設の整備	情報提供施設の1基設置	名古屋港 金城ふ頭地区							1.3	継続
1-C-2	施設整備	内地	名古屋市	直接	—	みなと振興	文化交流促進社会実験	交流活動支援による効果検証調査	名古屋港 金城ふ頭地区							1.3	継続
1-C-3	施設整備	内地	名古屋港管理組合	直接	—	建設	情報提供施設の整備	情報提供施設の9基設置	名古屋港 中川運河地区							9.0	継続
合計														11.6			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
1-C-1	港湾事業(1-A-23)と一体的に整備することで、緑地を訪れる人々の利便性の向上を図る。																
1-C-2	港湾事業(1-A-23)と一体的に社会実験を実施し、賑わいの創出にどの程度資するかを検証する。																
1-C-3	港湾事業(1-A-24)と一体的に整備することで、緑地を訪れる人々が快適に過ごすことの出来る空間の充実を図る。																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>指標① : 厳しい財政状況の中、最大の事業効果が発現できるよう緊急性の高い施設を優先的に改良し、計画期間中の安全な施設利用を維持することができた。          指標② : 計画期間内での整備を見送ったことから、事業効果は発現していない。          指標③ : 新舞子ポートパークの整備により、主に施設周辺の名古屋港南部地区の放置艇を収容し、同地区において船舶の安全な航行、災害時の放置艇の流出防止対策を図ることができた。          指標⑤ : 維持管理計画書に基づく計画的な補修により、施設の延命化が見込まれる。          指標④ : 「ささしまライブ24地区」の土地区画整理事業と連携し、快適・安全に過ごすことの出来る港湾空間の形成が着実に進んでいる。          指標⑥ : 金城ふ頭中央緑地の整備により、人々が憩い、快適に過ごすことの出来る港湾空間の形成を図ることができた。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標① (H22から5年間で予防保全が必要な港湾施設の改良率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	厳しい財政状況の中、緊急性の高い施設を優先的に改良し、一定の効果はあったが、港湾施設の改良に必要な予算の確保ができなかったため。
		最終実績値	57%		
	指標② (第1次緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率)	最終目標値	25%	目標値と実績値に差が出た要因	計画期間内での耐震化を実施しなかったため。
		最終実績値	0%		
	指標③ (港内の放置艇の恒久施設への収容率)	最終目標値	27%	目標値と実績値に差が出た要因	新舞子ポートパークは満隻ではないが、放置艇所有者への適正管理の働きかけ等により、名古屋港内のプレジャーボート数が減少しているため概ね目標値を達成している。
		最終実績値	25%		
	指標④ (維持管理計画を策定する必要のある施設の割合)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	順調に計画の策定を完了することができた。
		最終実績値	100%		
	指標⑤ (中川運河地区における堀止緑地の認知度)	最終目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	未供用であることから認知度のアンケートを実施していないため。
		最終実績値	-		
	指標⑥ (金城ふ頭地区における金城ふ頭中央緑地の認知度)	最終目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	案内看板の設置や一層の広報活動に努め、認知度の向上には一定の効果を得られたものの、目標値には至らなかった。
		最終実績値	55%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		—			

### 3. 特記事項（今後の方針等）

（今後の方針）

- 指標① : 本計画で未実施となった施設については、物流機能の維持・強化を図るため次期整備計画に位置づけ、整備に必要な予算の確保に努め早期整備完了を目指す。
- 指標② : 災害時の交通・物流機能を確保するため、当面の安全対策を実施しながら、埋立計画を踏まえ、橋梁の耐震化の必要性について検討していく。
- 指標③ : 安全な港湾活動を確保するため、既存施設への収容率を高める取組みとともに、新たに港湾計画へ位置づけた係留施設の整備へ向けた取組みを推進していく。
- 指標④ : 維持管理計画書に基づき、計画的に港湾施設の施設改良を推進していく。
- 指標⑤ : 快適・安全に過ごすことの出来る港湾空間の形成を推進するため、次期整備計画に位置づけ早期整備完了を目指す。また、イベント時に案内チラシを配布するなど既に実施しているPR活動を引き続き行っていくとともに、堀止緑地の認知度を向上させるため、「ささしまライブ24地区」開発と連携して広報活動に努めていく。
- 指標⑥ : 金城ふ頭中央緑地の認知度をより向上させるため、レゴランドのオープン等周辺開発と連携して、広報活動に努めていく。

(図面)

